

# ERAS を基盤とした大腸がん手術のクリニカルパス改訂による 術後合併症逓減の効果に関する研究

## 研究の対象となる方

2014年5月～2015年3月、2020年2月～9月に当院でクリニカルパスに準じた大腸がん手術を受けられた方

## 目的・方法

大腸がん手術で入院された患者さんの中には、フレイルと呼ばれる運動機能が低下した患者さんがおられます。このフレイルの状態ですと手術を受けられる場合、術後合併症発生率が高くなることが報告されています。そのため、外来からフレイルの有無について評価を行い、ERAS（術後回復強化）に基づく術後管理を行うことが望ましいとされています。

この研究では、現在の手術前後の管理方法の改善点を見出すべく大腸がん手術を受けられた患者さんを対象に、以前の手術前後の管理方法を比較し調査します。ERAS を基盤とした現在の術後管理に加えフレイル群特有の対策を講じてきた定期的な改善活動が術後合併症と術後在院日数に及ぼす影響を検証し、今後の課題を明らかにすることを目的とします。

本研究は診療の中で得られた情報を収集し解析を行います。

## 研究期間

2021年6月29日～2022年3月31日

## 研究に使用する情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、術式、術後合併症の有無、術後在院日数など。

この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## 個人情報の取扱い

研究データは、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化した上で使用します。この研究成果を学会や学術雑誌などで発表する予定ですが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報は、本研究の責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。研究終了時は、研究に使用した情報を完全に抹消します。

## お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 リハビリテーション部 大崎敬之（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上